

第7回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和2年1月16日(木) 午後1時30分～午後3時20分
会 場	豊栄地区公民館 視聴覚室
出席委員	五十嵐隆吉委員(部会長)、澤玲子委員(副部会長)、神田征男委員、 本間藤雄委員、阿部勝幸委員、山賀好郎委員、工藤真美委員、小池静夫委員、 鶴巻ヨシ子委員、村山和夫委員
欠席委員	菅原妙委員
事務局 関係課	北出張所(川崎所長)、地域総務課(中川補佐・佐藤)
会議要旨	<p>1 第8回地域づくり部会への出席者について 本年度自治協議会提案事業「北区みんなで見守り隊」の総括及び記録集作成のため、ファシリテーターを務めた「NPO法人まちづくり学校」の出席を了承した。</p> <p>2 北区生活交通改善プランについて 事務局より、第2回北区地域公共交通検討会議(R1.12.25)の会議概要を報告した。 →意見等なし。</p> <p>3 北区デマンド交通社会実験について 事務局より、同事業の運行実績を報告した。その後、同事業の現状と課題について意見交換を実施した。</p> <p>〔主な意見等〕</p> <p><u>現行運賃について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 一人乗車(1,000円/人)と複数乗車(300円/人)の運賃差が大きい。300円というのは安すぎると思う。値上げを実施しても利用者から理解を得られるのではないか。 「乗合」を促進しているにも関わらず、一人乗車時のほうが複数乗車時よりも運賃を多く収受する今の状況はおかしいと思う。 乗車するまで判然としない今の運賃体系は、考え直す必要があると思う。利用をためらう人が出てくるのも理解できる。 <p><u>本制度設計について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> バス停まで行けない交通弱者がいることを踏まえると、デマンド交通の必要性は理解できる。しかし、補助要件が決まらない限り、運賃体系を含め制度を議論するのは難しいのではないか。既存住民バスに補助率やいくらまで補助できるのか(=補助上限額)が設定されているように、デマンド交通にも補助基準

が必要である。

- ・デマンド交通は、収支や経費といった指標だけで評価できるものではない。路線バスとは指標が全く異なるということを前提としなければ、本制度化の議論は進まない。
- ・実人員が非常に少ない（H30 年度実績：144 人）。地域としてメリットがないように見える。利用の大半を占める高齢者にフォーカスした大胆な見直しを実施したほうが良い。
- ・わずか7人しかいない多頻度利用者のために、これだけの予算を使うことが本当に適切なのか、私は疑問に思う。本制度化には相当な労力が必要だろう。

欠損発生時の対応について

- ・これだけ実人員が少ないと、欠損発生時に地元負担を求められた際、地域から理解を得るのは非常に難しいと思う。特に長浦地区は、川西等の葛塚地区市街地に近い住宅街と阿賀野市境界付近の郊外地域で二分されており、実際に利用しているのは、料金上メリットのある後者が大半であることから、さらに説明が困難になるだろう。

その他

- ・地元負担の可能性を含め、問題が多いからといって廃止すべきではない。高齢化がますます進むなかで、デマンド交通の需要が増加する可能性は非常に高い。私も「高齢者」といわれる年齢に近づくにつれ、デマンド交通の必要性を肌身で感じる。
- ・デマンド交通は非常に課題が多く、議論が尽きない。市は本制度化にあたって、方針を明確に打ち出し、そのうえで地域と協議してほしい。

以上

第 7 回 福祉教育部会 会議概要

日 時	令和 2 年 1 月 16 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 2 時 20 分
会 場	豊栄地区公民館 2 階大講堂
出席委員	清水委員、梅津委員、神田(恭)委員、樺山委員、小林委員、藤沢委員、相馬委員、中嶋委員、佐久間委員 9 人
欠席委員	平松委員 1 人
事務局	川崎課長 (健康福祉課)、拝野館長 (豊栄地区公民館)、佐藤教育支援センター長、高野・深沢 (地域総務課)
会議要旨	<p>(1) 令和元年度第 2 回北区教育ミーティングについて 佐藤教育支援センター長から説明がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集約した意見をどう生かしていくのか →自治協委員の皆様のご意見をお聞きすることで、地域における教育の実状や区の特性などを把握し市全体の教育行政に反映させていきます。 ・保護者もいろいろな考えの方がおり強制はできないが、PTA 活動は子どものためになると思って活動している。 ・時間はもう少し長くてもいいのではないか。 <p>(2) 「全てのママ・パパ応援プロジェクト」について 冊子の配布方法について意見交換しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早通健康福祉会館で配布したい ・各区自治協議会委員にも配布してほしい。 ・ホームページにも掲載してほしい。 ・学校に自治協の活動を知ってもらうため、小中学校にも配布してほしい。 ・各区健康福祉課の健康増進係(新生児訪問担当)にも配布してほしい。 <p>→対応することとし、その他委員で個人的に配りたいなど要望があれば事務局まで連絡ください。</p> <p>(3) 令和 2 年度自治協議会提案事業「福祉教育部会だより」について事務局より進行計画(案)について説明。チーム分けや発行形態について、次回までに各自で検討しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字が小さいので A3 版が良い。 ・3 回のうち 1 回は両方教育にしてはどうか。

- | | |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <ul style="list-style-type: none">・内容について大まかな項目だけでも決めておけば原稿作りが楽になる。・未就学児・小学生・中学生でチームを分けなくてもよい。・以前に配布したときに認知症サポーターのことを載せたら学校から養成講座の依頼があった。・H29 に作成したときの、載せきれなかった項目を教えてください。
→H29 は県の「家庭教育支援ガイドブック」の中から項目を選んだ。次回お渡しする。 |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

第 7 回 自然文化部会 会議概要

日 時	令和元年 1 月 16 日（木曜） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 15 分
会 場	豊栄地区公民館 研修室 2
出席委員	阿部(美)部会長、本間(久)副部会長、赤間委員、松田委員、原委員、黒川委員、皆川委員、渡邊委員、本田委員
欠席委員	
事務局 関係課	菊地建設課長、産業振興課（山際課長、村山係長）、 地域総務課（参宮副区長、高田）
会 議 要 旨	<p>1 令和元年度自治協議会提案事業について</p> <p>令和元年度自治協提案事業「潤いの福島潟創出」について、下記のとおり協議しました。</p> <p>① 啓発パネルの移動展示及びパンフレットの配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、北区文化会館、葛塚コミュニティセンター、木崎コミュニティセンターでの巡回展示の他、元旦歩こう会などのイベントにて展示を行った。 <p>② テント及びベンチ等の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビュー福島潟の意見も確認し、イベント用タープテント、パラソル、ベンチの購入を検討中。 ・テントには、当部会の名前・事業名を記載予定。 <p>③ 第 12 回北区ふゆっこまつり PR ブース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：令和 2 年 2 月 23 日（日）午前 10 時～午後 3 時 ・場所：新潟医療福祉大学 ・啓発パネルの展示、パンフレット及び PR グッズの配布。 マスコットキャラクター「クイクイ」を活用した PR。 <p>〔主な意見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル巡回展示の様子を見たが、ロビーにパネルが唐突に設置してありよく分からない。趣旨が分かるような標示等があるとよいのではないか。 →標示を設置していたが、趣旨が分かるようなものではなかった。 標示方法については、今後検討する。 ・パネルを設置することで、見た方から何か反応はあったのか。 →直接的な反応はないが、パンフレットを手にとってもらえるようになった。 ・ビュー福島潟の来客数を知りたい。 →次回の部会にて提示する。

- | | |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <ul style="list-style-type: none">・福島潟のパフレットをビュー福島潟のホームページで閲覧できるようにしたほうが良いのではないか。館内に設置するだけでは、訪れたことのない人には届かない。・啓発パネルの巡回展示について、今はどこで展示しているのかなどをホームページで閲覧できるようにしてはどうか。趣旨等も分かるように。
→ホームページへの掲載について、ビュー福島潟と検討する。 |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|